

やまびこ学級 算数科学習指導案

1 単元名 「お金や時間について考えよう。」【金銭・時間】

2 単元の目標

- 実際の場面に即した算数的課題に意欲的に取り組み、数理的処理のよさや算数的思考が日常生活に役に立つことを感じる。
- 硬貨や紙幣を弁別し、金額に応じて硬貨や紙幣を組み合わせる取り出すことができる。
- 必要な金額や硬貨の枚数を調べる中で、計算を活用する有能性を感じる。
- 時刻・時間や生活と時刻とのつながりに関心を持ち、およその時刻を読めるようになる。
- 一日の予定の順番を理解し、時刻と行動の対応ができる。
- 基本的な学習規律を守りながら、1時間の学習の見通しを持ち、意欲的に授業に参加することができる。
- 自分の課題を理解し、最後まで取り組むことができる。
- 自分が活動した内容を、相手に分かるように伝えることができる。

3 指導の考え方

- 本単元は、生活単元学習「福岡空港へ行こう（校外学習）」と関連させた算数の学習として設定したものである。校外学習で必ず必要となるお金に関する内容と時刻や時間に関する内容を学習理解度別グループで学習し、金銭や時間に関する内容を習得することを主なねらいとしている。つまり金銭については、硬貨や紙幣の種類を知り、種類ごとに分類したり数えたりすること、代金（運賃）を間違えないように支払うことを、時間については、時計に関心をもつこと、時計を見ておよその時刻を読むこと、時刻・時間を生活がつながっていることを理解すること、簡単な時間を計算などで導き出すことをねらいとしている。また、交流活動では、自分が活動した内容を相手に言葉で伝えること、相手の話を最後まで聞くことができるようになることをねらいとして学習を進めていく。

そして児童が楽しみにしている生活単元学習の校外学習と関連させることにより、学習した内容が日常生活に役立つことを実感させたい。

- 本学級の児童は、今までの経験で「お金」を使用すると物が買えることや、日常生活に「お金」が必要なことは分かっているものの、硬貨・紙幣の種類やお金の価値の理解は不十分である。財布から必要な金額を取り出すなど、操作を伴った行動をとった経験も乏しい。また、一日の時の移り変わりや時刻のつながりに関心はあるものの、どの児童も「時刻と時間」の学習内容は定着しにくい実態がある。

しかし、算数科の学習において、個々の学習進度にあわせた計算などの問題はでき、算数科を「得意」だと感じている児童は多いが、日常生活に必要な場面において活用しようとする姿がみられていない。これは、児童が数理的処理のよさや算数的思考の

よさを実感していないためだと考え、本単元を設定した。

また、交流活動の実態は個人差が大きく、自分の思いを言葉で伝えることができる児童は少なく、話し手の話の内容を正しく理解することも難しい。日常的に人前で話す機会を保障し、決まった話形を提示したり聞き手の児童に復唱させたりしているところである。

- 本校の特別支援学級は3学級あり、20名の児童が在籍している。1年生3名、3年生2名、4年生8名、5年生2名、6年生5名で構成されている。学級編成は縦割りであり、障がいの状態も様々で学習内容や進度も大きく異なっている。

日常の算数の学習は、「やまびこ学級年間カリキュラム」に基づき児童の実態を踏まえ、学級別に授業を構成している。一斉授業形式・個別学習形式など形態も様々である。また、日常生活の中や生活単元学習の中でも、生活に密着した算数的課題を取り上げて学習を行っている。

生活単元学習は、毎日1時間程度行っており、基本的な学習規律の定着も大きな目標としている。また、高学年児童を身近なモデルとして捉えられるように、高学年をリーダーとして行う小集団活動を計画的に仕組むようにしているが、低学年児童はわがままを言ったり、甘えたりすることが課題にあげられる。

そこで、本単元に関連させた生活単元学習「福岡空港へ行こう」では、行動グループと学習グループに分けそれぞれの学習進度に合わせたグルーピングを行い、さらにその中で2、3人組を作り、全員が活動・交流しなければ課題解決ができない状況を作り、全員の順番がある授業づくりをしていく。また、「算数」として学習を進め、どの児童にも学習内容が校外学習に役に立つことを実感させていく。

- 本単元の指導にあたっては、意図的に行動グループと学習グループのグルーピングを行い学習を進めていくようにする。学年・学習進度・友達関係・本単元においてつきたい力などを加味し、グルーピングを行い、一人一人の実態をつかむため同一担当教師が学習グループでの学習を進めていくようにする。その際には、個々の児童の実態に合わせた具体物の操作、図的表現（マッチング）、数理的処理を用いた算数的活動を通し、どの児童にも達成感・満足感を味わわせていくよう配慮する。

金銭についてのねらいを達成するために、硬貨・紙幣の拡大写真を準備したり、学習内容を振り返られるように掲示物を作成したりし視覚的な支援を取り入れていく。児童の実態に合わせ、お金を金種毎に分類し数を数えたり、並べたりする操作活動を取り入れ確実に操作させるように支援を行っていき、それぞれの児童が達成すべき内容が習得できるようにしていく。また、一人分の必要な金額（加法）や、全員分の金額（乗法）を計算で出したり、必要な金種を計算したりする活動を通して、数理的処理のよさを味わわせていきたい。全員で経路・運賃の学習を行った上で、算数の学習でお金の取り扱いについて個々の実態に即した内容で学習を進めていく。操作活動では日常生活に活かすことを考慮し実際の硬貨も使用する。

時間についてねらいを達成するために、様々な種類の時計を準備したり、時刻と朝・昼・晩の移り変わりを図で表し掲示したり視覚的な支援を取り入れ、操作活動と

して時計模型の針を動かしたり，腕時計を腕につけ時刻を読み取ったりすることを取り入れていく。また，学校生活の一日の予定を時刻と対応させ，日常的に時間を意識できるような言葉かけを行っていく。金銭・時間ともに，各学級にて個別反復学習を行い，学習内容の確実な定着を目指していく。

そして，本単元を通して，自分が学習したことが，校外学習で役に立ったという実感をもたせ，日常生活の中でも数理的処理のよさや算数的思考が役に立つということを感じさせていきたい。

4 単元計画（全8時間）

時	目 標	学習活動	評価規準
	【生活単元学習①】全体 ○ 校外学習で福岡空港に出かけることを知る。 ○ カレンダーを見て，大まかな見通しを立てる。		
1	【算数】 ○ お金の種類について知る。 全体 ○ 指示された紙幣や硬貨を選ぶことができる。 学習グループ別	○ 紙幣や硬貨の写真，実物などを見せ，大きさ・色・形で種類分けする。お金の価値の大小に分ける。 ○ 種類ごとに分類して数えたり，紙幣と硬貨を組み合わせたりして指示された金額を選ぶ。 ※交流活動	考 お金の大きさ・色・形などを言葉で表現することができる。 お金の価値の大小によって並べ替えすることができる。 技 個人別に与えられた課題を最後まで取り組むことができる。
2	【算数】 学習グループ別 ○ 簡単な両替ができる。 ○ 指示された硬貨を多くのお金の中から選ぶことができる。	○ 紙幣→硬貨，硬貨→紙幣の両替を行う。 ○ 金種を間違えずに選ぶことができる。	知 お金の価値の大小を理解している。 技 間違えずに指示された硬貨や紙幣を選ぶことができる。
	【生活単元学習②】行動グループ別 ○ パソコンで，交通機関の経路や運賃について調べることができる。 ○ 調べた内容をまとめて書き表すことができる。		
3	【算数】 学習グループ別 ○ 算数②の内容の補充・復習をし，お金についての理解を深める。	○ 個々の課題を最後まで行う。 ○ 反復問題，練習問題に取	関 自分の課題に意欲的に取り組むことができる。

		り組む。	
4	<p>【算数】 学習グループ別</p> <p>○ 時計に関心をもったり、時計を見て時刻を読んだりする。</p>	<p>○ いろいろな種類の時計を知る。</p> <p>○ 時計の特徴を見つける。</p> <p>○ いろいろな種類の時計を見て時刻を読む。</p>	<p>関 身の回りにある時計を見つけることができる。</p> <p>考 時計の形や動きなどの特徴を言葉で表すことができる。</p> <p>技 簡単な問題に取り組むことができる。</p>
	<p>【生活単元学習③】 行動グループ別</p> <p>○ パソコンで福岡空港について調べ、昼食の場所や、見たい場所を調べ、グループの友達と話し合うことができる。</p> <p>○ 調べて話し合った内容を書き表すことができる。</p> <p style="text-align: right;">※交流活動</p>		
	<p>【生活単元学習④】 全体</p> <p>○ 前時に話し合った内容を出し合い、全体で意見を決定することができる。</p>		
5	<p>【算数】 学習グループ別</p> <p>○ 時刻と学校生活が関係あることに気付く。</p> <p>○ 一日の時制を時計とマッチングすることができる。</p>	<p>○ 時制表や教室の壁掛け時計をじっくり見る。</p> <p>○ 時制表に時計の図をマッチングする。</p>	<p>関 時制が進んでいくと時計の針も進むことに気付き、時計をよく見ようとしている。</p> <p>技 自分で考えたり、黒板を見ながら、マッチングすることができる。</p>
	<p>【生活単元学習⑤】 全体</p> <p>○ 校外学習当日の行程を大まかにたてることができる。</p> <p>○ どこで、お金を使用するのか確認する。</p>		
6 本 時	<p>【算数】 学習グループ別 →全体</p> <p>○ 金種の個数や友達の人数を正しく数えたり表したりすることができる (1グループ)</p>	<p>○ 個々のワークシートに沿って、硬貨の写真を数えたり貼ったりする。</p> <p>○ 同じグループの友達の名前を書いたり、貼ったりす</p>	<p>考 自分の課題を理解し、自力解決しようとする。</p> <p>技 写真を見てマッチングすることができる。</p>

	<p>る。</p> <p>○ ペアの友達に「～が○個です。」など言う。</p> <p>※交流活動</p>		
<p>○ バス・地下鉄代金の合計を計算で出したり、実際の硬貨を数えたりすることができる。</p> <p>(2グループ)</p>	<p>○ 必要なお金を多くのお金の中から取り出し、金種別に数える。</p> <p>○ 計算により、全部の金額を導き出す。</p> <p>○ ペアの友達に、自分がした学習内容を伝える。</p> <p>※交流活動</p>	<p>考 自分の課題を理解し、自力解決しようとする。</p> <p>知 正しく計算することができる。</p>	
<p>○ 1日の時間的な流れを理解し、みんなに分かりやすいスケジュール表を作成することができる。</p> <p>(3グループ)</p>	<p>○ 個人の課題プリントに沿って、時計を読んだり、時間を計算したりする。ペアの友達とは同じ課題を解決する。</p> <p>○ ペアの友達に、自分がした学習内容を伝える。</p> <p>○ グループみんなでスケジュール表を仕上げる。</p> <p>※交流活動</p>	<p>考 自分の課題を理解し、自力解決しようとする。</p> <p>関 友達に自分がした学習内容を伝えようとする。</p>	
<p>○ それぞれのグループの報告を聞き、スケジュールや使用するお金について理解する。</p>	<p>○ 自分たちのグループの課題の結果をわかりやすく発表する。</p>	<p>考 相手に分かるように発表することができる。</p> <p>考 友達の発表を理解しようとしている。</p>	
<p>【生活単元学習⑥】全体</p> <p>○ 校外に出る際の安全について理解する。</p> <p>○ 望ましいグループ行動ができる。</p>			
7	<p>【算数】学習グループ別</p> <p>○ 予算に合わせて昼食を選ぶことができる。</p> <p>○ 自分が使用する金額を時系列に理解する。</p>	<p>○ 昼食メニュー表より、予算内で昼食を選ぶ。</p> <p>○ 交通機関運賃・昼食代金をあわせていくら使用するか計算したり、お金を数えたりする。</p>	<p>技 予算を理解し、予算内で昼食を選ぶことができる。</p> <p>知 どこで、いくら使用するのか理解している。</p> <p>技 合計金額を計算で出すことができる。</p> <p>知 合計金額をお金を数</p>

			えて理解することができる。
	【生活単元学習⑦】全体 ○ バスや地下鉄に乗る練習をし、お金を間違えなく出すことができる。		
	【生活単元学習⑧】全体 ○ 校外学習に持って行く物を理解する。 ○ 当日の行程を理解する。		
	【生活単元学習⑨・⑩・⑪・⑫・⑬】全体 ○ ルールを守り校外学習に参加する。 ○ お金を正しく使用することができる。		
8	【算数】 行動グループ別 ○ 校外学習を振り返りお金の精算ができる。	○ レシートを貼ったり、一日乗車券を貼ったりして、残金を計算をする。 ○ 残金を持ち帰る準備をする。	技 指定された場所にレシートなどを貼ることができる。 技 計算で残金を出すことができる。 技 財布に残った金額を理解する。
	【生活単元学習⑭】全体 ○ 校外学習を振り返り自分の感想を言うことができる。		
			※交流活動
	【生活単元学習⑮⑯】 ○ 校外学習アルバムを作ることができる。 ○ 自分のアルバムを発表することができる。		各学級別 全体

8 展開 3グループ (6名)

指導者

段階	学習活動と内容	主な支援
つかむ	<p>1 本時のめあてを知り、自分の問題をつかむ。</p> <p>(1) 全体のめあてを知る。</p> <p>めあて (全体)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">福岡空港に行くために必要なことを調べよう。</div> <p>(2) 自分の学習グループのめあてを知る。</p> <p>めあて (3グループ)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">一日のスケジュール表を みんなに分かるように 作ろう。</div>	<p>○ 学習の構えができているのか評価する。</p> <p>○ 掲示物などを利用して、前時までの学習の振り返らせる。 (金銭・時間・校外学習)</p> <p>○ 学習グループ割の掲示を使用する。</p> <p>○ 学習の場所を指定する。 (3グループ：やまびこ3組)</p>
見通す	<p>2 本時の見通しをもつ。</p> <p>(1) 1時間の流れを知り、見通しをもつ。</p> <p>(2) 各学習場所に移動する。</p>	<p>○ 見通しをもって活動できるように、学習の流れをホワイトボードに記入し掲示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">今日の学習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 はじめのあいさつ 2 めあて 3 もんだい 4 グループべつがくしゅう 5 はっぴょう 6 おわりのあいさつ </div>
つくる	<p>3 学習グループで集まり、課題を解決する。</p> <p>(1) スケジュール表の作り方について話し合う。</p> <p>(2) 個人の課題プリントに沿って、時刻や時間を求める。(自力)</p> <p style="padding-left: 40px;">時計模型の針を動かして、時刻や時間を求める。</p>	<p>○ 拡大版のスケジュール表を見せて、課題について理解させる。</p> <p>○ 発表のしかたを意識させ、具体的指示を与える。</p> <p>○ 一人一人の学習の進度に合わせた学習プリントを準備する。</p> <p>○ 時計模型・数直線・計算式など児童が分かりやすい方法で、時刻や時間を求めるようにする。</p>

	<p>時計の図や数直線を見て、時刻や時間を求める。</p> <p>計算して、時刻や時間を求める。</p>	
	<p>(3) 小集団（2人組）による交流活動を行う。</p> <p>① ペアの友達に自分が学習した内容を伝える。</p> <p>② 相手の学習内容を聞く。</p>	<p>○ 教師の支援が必要な児童には、細やかに声をかけ、交流を図れるようにする。</p> <p>① 「10時30分から長い針を30分動かすと11時になります。」というように、方法を相手にしっかり伝える。</p> <p>② 同じ方法でやってみて、間違いがないか確かめさせる。</p>
<p>／</p> <p>まとめ</p>	<p>(4) スケジュール表を完成させ、全体発表の練習をする。</p> <p>4 全員で集まり、学習グループで活動したことを交流する。</p> <p>(1) 自分達がした課題について報告する。</p> <p>(2) それぞれを担当した教師が、内容を確認する。</p> <p>(3) 本時の学習を振り返り、今後の学習の予定を知る。</p>	<p>○ 誰がどこを発表するのか明確にする。</p> <p>○ 発表の仕方・聞き方に留意させる。</p> <p>○ 復唱をさせ、友達の発言を注意深く聞くように意識づけをする。</p> <p>○ 児童の報告で不十分だった点、押さえておきたい点を確認する。</p> <p>○ 見通しをもって校外学習が迎えられるように、予定を知らせる。</p>